

## 音楽係のつぶやき

2017.4.30 兼崎



### ➤ ア・カペラ

今度の演奏会の第Ⅱステージ、ヨーロッパの民謡は全 6 曲がア・カペラです。演奏を始める前に必要なのが“音取り”です。その方法は次のように様々ですが、合唱指揮者の武田雅博氏は主に○印を使うとのこと。

(1) いつ取るか

- ① ステージのそで ② 拍手の最中 ③ 演奏直前

(2) 何の音を取るか

- ① 曲のキーになる音 ② 出の音の中の一つの音 ③ 出の音を全部

(3) 音の回し方

- ① 回さない ② ハミングで回す ③ 指揮者がハミングで音を伝える

(4) 何を使って取るか

- ① 楽器を使わない ② 指揮者または団員が音叉の音から相対音感で音を取る ③ ピッチパイプ ④ ピアノ、オルガン、キーボード

(5) だれが取るか

- ① 団員 ② 指揮者 ③ ピアニスト

また、ア・カペラにも音のない前奏があり、合唱団が並ぶ、指揮者が登場する、礼をする、音を取る、指揮者がまえる、予備拍を振る はすべて前奏であって、演奏する曲と一体(同じイメージ)でなければならないとも言っています。複数のア・カペラを演奏する第Ⅱステージは曲間のイメージ・チェンジがとても重要になってくるわけです。

### ➤ 田中信昭さん

1928 年、新潟生まれ。東京芸大音楽科卒、東京混声合唱団を創設、常任指揮者を長く務め、現在は桂冠指揮者である田中信昭さんのお話です。・・・2017 年 3 月 25 日 読売新聞夕刊

- 芸大でソプラノのネトケ・レーベ先生に 4 年間、ドイツ歌曲を学びました。周囲は良い声しか追及していませんでしたが、「良い声なんて何も表現してなければ意味ないでしょ」と言われ、言葉と音楽の関係を考える出発点となりました。
- 歌唱ではよく「ハモる」という言葉を聞きます。しかし、それはドミソの音が合っているだけ。個人が言葉の意味を歌に乗せて感動と喜びを届けてこそ音楽。
- 合唱って、人に迷惑をかけず、加わった団体のために役立つとは何だろうと、一人一人が考えさせられる場なんです。(合唱は利他の追及)